

地域の皆様と共に 一人ひとりの子どもたちに 未来を提供する学校

果敢に挑む姿そのものが 立派な成果です

7月6日から夏の総合体育大会が始まり、運動部に所属する3年生にとっては日々の活動で培った成果を確認する最後の時期となりました。

スポーツは勝敗を競うことで互いを高め合うことを目標としていますので、常に勝つか負けるかの結果が伴います。

現在NHKで放映されている「いだてん」では、日の丸を背負って決死の思いで戦う金栗四三さんや人見絹枝さんの姿が描かれています。

男女それぞれ日本人初のオリンピック選手として出場したお二人には、勝利に対する計り知れない重圧があったことと思います。

しかし、中学校の部活動に求められるのは、決して勝利のみではありません。というよりも、その勝負という過酷な状況に果敢に挑む姿そのものが最も尊い成果であると考えています。

限られた環境の中で、自分の精一杯の力を発揮するために日々の努力を積み重ね、同様に努力してきた相手とその成果を競い合う姿に大きな拍手を送りたいと思います。

また、直接試合には出場せず、仲間の活躍に精一杯の声援を送る姿も選手と同様に輝きを放っており、校長としてその姿を見届けることが大切な役割と捉えています。



子どもたちと関わる時間が 増えました

最近、教員の働き方について話題になることが多くなりました。抱えきれないほどの業務により、過剰な残業時間を余儀なくされている教員の実態は中央中でも例外ではありません。

本年度、相模原市では「スクールサポートスタッフ（SSS）」制度を導入し、資料の印刷やテストの採点、宿題等の提出状況の確認など教職員の補助業務を担う職員を配置しています。

中央中には4月から久保田臨時主事が配置され、週2日職員室で勤務しています。



自ら積極的に業務を求める久保田主事のおかげで、各教員は子どもと直接向き合う業務に傾注できます。

人に優しい校舎となって子どもたちを迎えます

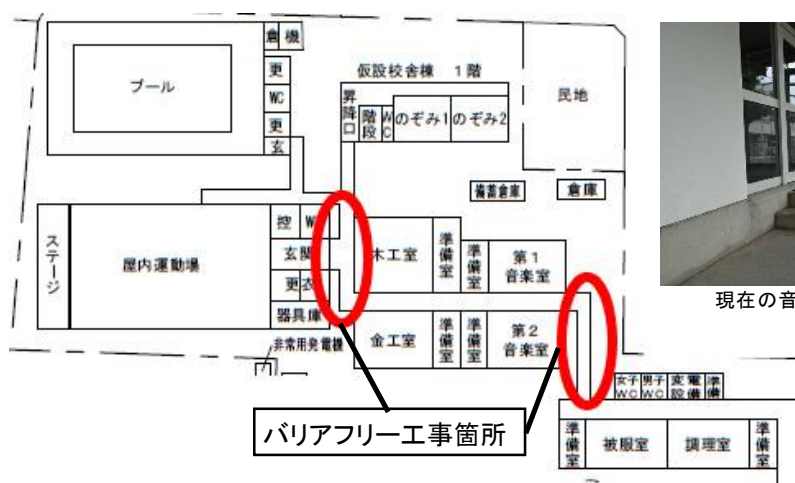
中央中学校の校舎は、各学年の教室があるA棟から体育館までの動線は2つの特別教室棟を通過する複雑な構造となっています。

そして各棟の入り口には段差があり、車椅子等での通行は困難な

状況でした。

夏季休業中にこの動線のバリアフリー工事が行われます。

2学期からは人に優しい校舎となって中央中の子どもたちを出迎えてくれるはずです。



現在の音楽室側入り口

夏季休業が短縮されました

昨年度、相模原市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則が改正され、本市立小・中学校の夏季休業が7月21日～8月24日となりました。

小学校3年生以上における外国語活動等の授業時数が年間35時間増加するため、現状の授業日数では授業時数を確保することが難しい状況となること。また、中学校においては授業時数の増加はないものの、これまでも厳しい日程の中で授業時数を確保している実態があることの改善のため、授業時数を確保し児童生徒の適切な学習環境の整備を図ることをねらいとしたものです。

今年度は、8月25日が日曜日であ

るため2学期の始業式は8月26日（月）となります。

楽しい夏休みが若干短くなってしまい、子どもたちには申し訳ないと思います。

また、8月中は給食の提供がないため、弁当持参をお願いすることとなりますが、適正な学習環境確保にご協力ください。

月日	曜	行事等	昼食
8/26	月	2学期始業式	無
27	火	5校時 一斉下校	弁当持参
28	水	5校時	弁当持参
29	木	5校時 生徒会委員会	弁当持参
30	金	5校時 ブロック結団式	弁当持参